

特 100

548

小學教員受驗案内

東京 東文社發行



始



特100
548

小學教員受驗案内

東京東文社發行

目次

小學教員の概説……………	一
小學校令沿革……………	五
小學校令施行規則沿革……………	一六
小學校令及小學校施行規則實施に關する規則沿革……………	三〇

小學教員受験案内

● 小學教員の概説

小學教員には、小學校本科正教員と全准教員と全専科正教員と云ふのがあつた、又尋常小學校正教員と尋常小學校准教員と都合五種ある譯だ。此の外に代用教員と云ふものがある、これは教員の免許状を持つてない人で高等小學を卒業した人又は中學若くは商業學校とか農學校とかを卒業した人又は是等中等學校を中途で止めた人である師範學校を卒業すれば小學校本科正教員になれる、其の他の人は皆檢定試験を受けねばならぬ、檢定試験は毎年壹回は各府縣で執行するから各自の出願せやうとする地方廳へ毎年の例を問合すが宜しい

試験料は各府縣で違ふが大抵五六十錢から二圓迄位である。

教員の給料も色々あるが全國平均して見ると正教員が二十圓内外、准教員と尋常小學校正教員とが十四五圓位で、尋常小學校准教員が八九圓位である、代用教員は高等小學卒業したばかりの者や中等學校を途中で退學したものは六七圓で中學程度の學校を卒業した人は代用教員でも九圓位は貰へる。此の外永年勤続した者には年功加俸がある。

檢定試験の程度は小學校本科正教員は師範卒業程度、准教員と尋常小學校正教員は是より稍低く尋常の准教員の如きものは更に易い、唯教員の檢定試験を受けんとする人は、最も教育に力を入れねばな

らぬ。

亦縣により檢定試験を受けて全部には合格せんでも、某科目の成績良好なものには證明書を呉れる所もある、この證明書を得た科目に付いては次回よりは受験する必要はない。この證明書も三年間或は五年間有効の規定の縣もあれば、無限に何時迄も有効として居る縣もある、すべて詳細な事は各府縣で多少異なる、それで出願地方廳に對し小學校教員檢定試験に關する縣令又は府令及び參考用書の告示等を問合すが宜しい。

東京府では中學又は高等女學校を卒業した物には、唯教育の一科目に合格すれば尋常小學校本科正教員になれる、それであるから是

等の人は先づ尋正の免許状を受けてそれから小學校本科正教員の檢定試験を出願すると宜しい。

次に小學校令と全施行規則及び小學校令及小學校令施行規則實施に關する規程の沿革を出して置きますからよく讀まれたい、此の法令の實施に關する各地方廳令は、前にも言つた通り縣廳學務課又は郡役所或は市町村役場の學務課に承合されると宜しい。

○小學校令沿革

(明治三十三年八月勅令第三百四十四號)

第壹章 總 則

第一條 小學校ハ兒童身体ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並其ノ生活ニ必須ナル普通ノ智識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條 小學校ハ之ヲ分テ尋常小學校及高等小學校トス尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併置スルモノヲ尋常高等小學校トス

市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ市町村立小學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設置スルモノヲ私立小學

校トス

第三條 尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ高等小學校ノ規定ヲ授クベキ部分ニ對シテハ高等小學校ノ規定ヲ準用ス但シ文部大臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 町村組合ニシテ其ノ町村一切ノ事務ヲ共同所分スルモノハ之ヲ一町村ト同視ス

第五條 幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ規程ニ關シテハ本令中別段ノ規程アルモノヲ除クノ外文部大臣之ヲ定ム

第三章 教科及編制

第十八條 尋常小學校ノ修業年限ハ六個年トス
高等小學校ノ修業年限ハ二個年トス但シ延長シテ三箇年トナスコトヲ得

第十九條 尋常小學校ノ教科目ハ修身國語算術、日本歴史、地理、理科、圖畫、唱歌、体操トシ女兒ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ

第二十條 高等小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、圖畫、唱歌、体操トシ女兒ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ
前項科目ノ外手工、農業、商業ノ一科目又ハ數科目ヲ加フ其ノ數科目ヲ加ヘタル場合ニ於テハ兒童ニハ農業、商業ヲ併セ課スルコトヲ得ス

土地ノ情況ニヨリ英語ヲ加フルコトヲ得

農業、商業、英語ハ之ヲ隨意科目ト爲スコトヲ得

第二十一條 小學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十二條 小學校ノ教科目中兒童身体ノ情況ニヨリ學修スルコト能ハザル教科目ハ之ヲ其ノ兒童ニ課セザルコトヲ得

第二十三條 小學校ノ教科目ヲ加除シ若ハ隨意科目トナシ又ハ第二十條二項ノ教科目ヲ定メントスルトキハ市町村立小學校ニアリテハ管理者、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

補習科ヲ設置シ若ハ之ヲ廢止シ又ハ高等小學校ノ修業年限ヲ延長セントスルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村若ハ町村學校組合、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十四條 小學校ノ教科用圖書ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノタルヘシ

前項ノ圖書同一ノ教科目ニ關シ數種アルトキハ其ノ中ニ付府縣知事之ヲ採定ス

文部大臣ハ第一項ノ規定ニ拘ラス修身、日本歴史、地理、教科用圖書及國語讀本ヲ除キ其ノ他ノ教科用圖書ニ限リ文部省ニ於

テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢定シタルモノニ就キ府縣知事ヲシテ之ヲ採定セシムルコトヲ得

補習科ノ教科用書ニ關シテハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條第二十六條(削除)

第二十七條 小學校ノ休業日ハ日曜日ヲ除クノ外毎年九十日ヲ超ユルコトヲ得ス但補習科ハ此ノ限リニ在ラス特別ノ事情アルトキハ府縣知事ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ日數ヲ増加スルコトヲ得

傳染病豫防ノ爲必要アルトキ其ノ他非常變災アルトキハ監督官廳ニ於テ臨時小學校ノ閉鎖ヲ命スヘシ其ノ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ管理者、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ之ヲ閉鎖スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ監督官廳ニ届出ツヘシ

第二十八條 小學校教則及小學校編制ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第六章 職員

第三十九條 小學校ノ教科ヲ教授スルモノヲ本科正教員トシ其ノ教科目中圖書、唱歌、体操、裁縫、英語、農業、商業又ハ手工ノ一科目又ハ數科目ヲ限リ教授スルモノヲ専科正教員トス
本科正教員ヲ補助スルモノヲ准教員トス

第四十條 小學教員タルヘキモノハ免許狀ヲ受クヘシ

免許狀ハ府縣知事之ヲ授與シ全國ヲ通シテ有効トス

第四十一條 府縣免許狀ヲ受クルニハ師範學校若ハ文部大臣ノ指定

シタル學校ヲ卒業シ又ハ小學教員ノ檢定ニ合格スルコトヲ要ス

前項ノ檢定ヲ施行スルタメ府縣ニ小學校教員檢定委員會ヲ設ク

免許狀及小學校教員檢定委員會ノ組織權限其ノ他檢定ニ關スル

規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十二條 特別ノ事情アルトキハ免許狀ヲ有セザル者ヲ以テ小學

校准教員ニ代用スルコトヲ得

代用教員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十三條 市町村立小學校長ハ其ノ學校ノ本科正教員ヲシテ之ヲ

兼ネシムヘシ

第四十四條 市立小學校長及教員ノ任用ハ市長ノ申請ニヨリ町村立

小學總長及教員ハ郡長ノ申請ニ依リ府縣知事之ヲ行フ

市町村立小學校長及教員ノ解職ハ府縣知事之ヲ行フ

第四十五條 市町村立小學校教員ノ旅費俸給其ノ他諸給與並其ノ支

給方法ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ府縣知事之ヲ定ム

第四十六條 小學校長及教員ノ進退、職務及服務ニ關スル規程ハ文

部大臣之ヲ定ム

第四十七條 小學校長及教員ハ教育上必要ト認メタルトキハ兒童ニ

懲戒ヲ加フルコトヲ得但体罰ヲ加フルコトヲ得ス

第四十八條 市町村立小學校長及教員職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リタル時又ハ職務ノ内外ヲ問ハス体面ヲ汚辱スルノ行爲アリタル時ハ府縣知事ニ於テ懲戒處分ヲ行フ其ノ處分ハ譴責、減俸及免職トス

私立小學校長及教員ニシテ前項ニ準スヘキ所爲アリタルトキハ府縣知事ハ其ノ職務ヲ停止ス

第四十九條 小學校教員免許狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ免許狀ハ其ノ効力ヲ失フ

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 破産若ハ家資分産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

小學校教員免許狀ヲ有スル者不正ノ所爲其ノ他教員タルヘキ体面ヲ汚辱スル所爲アリテ其ノ情狀重シト認メタルトキハ文部大臣又ハ府縣知事ニ於テ其ノ免許狀ヲ褫奪ス

第五十條 府縣知事ニ於テ行ヒタル免職若ハ業務停止又ハ免許狀褫奪ノ處分ニ不服アルモノハ文部大臣ニ訴願スルコトヲ得

○小學校令施行規則拔萃(明治三十三年八月
文部省令第十四號)

第四章 教員檢定及免許狀

第一節 教員ノ檢定

第九十八條 小學校教員檢定委員會ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 會長

一 常任委員

一 臨時委員

第九十九條 會長ハ道廳府縣內務部長ヲ以テ之ニ充ツ

常任委員及臨時委員ハ府縣知事之ヲ命ス

臨時委員ハ試驗施行ノ際之ヲ命ス

第一百條 會長ハ會務ヲ整理シ檢定ノ成績ヲ府縣知事ニ報告ス

會長事故アルトキハ府縣知事ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第一百一條 常任委員ハ會長ノ指揮ヲ受ケ教員檢定ニ關スルコトヲ掌ル

臨時委員ハ會長ノ指揮ヲ受ケ試驗檢定ニ關スルコトヲ掌ル

第一百二條 小學校教員檢定委員會ニ書記ヲ置キ道廳府縣判任官ヲ以テ之ニ充ツ

書記ハ會長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ従事ス

第一百三條 會長、常任委員、臨時委員及書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

第四百條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ教員ノ檢定ヲ受クルコトヲ得ス。

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

二 削除

三 破産又ハ家資分産ノ宣告ヲ受ケ復權セザル者又ハ身代限リノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ卒ヘザル者

四 免許狀褫奪ノ所分ヲ受ケ三箇年ヲ經過セサル者

第四百五條 教員ノ檢定ハ分テ無試験檢定及ビ試験檢定トシ學力身体性行ニ就キ之ヲ行フ

第四百六條 試験檢定ハ毎年少クトモ一回之ヲ行ヒ無試験檢定ハ隨時之ヲ行フ

第四百七條 無試験檢定ハ左ノ各號ソ一ニ該當スルモノニ付キ第四百八條乃至第四百十二條ノ規定ニ對照シテ之ヲ行フ

一 師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者

二 削除

三 文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適シル者ヲ受ケテ卒業シタル者

四 中學校又ハ高等女學校ヲ卒業シタル者

五 公立私立學校認定ニ關スル規則ニヨリ認定セラレタル學校ヲ

卒業シタル者

六 其ノ他府縣知事ニ於テ特ニ適任ト認メタル者

前項第四號及ビ第五號ニ該當スルモノニ對シ小學校本科正教員ノ檢定ヲ行フ場合ハ卒業後二ケ年以上小學教育ニ從事シタル者又ハ高等女學校ヲ卒業シ修業年限一ケ年以上ノ補習科ニ於テ小學教員ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シタルモノニ限ル

第百八條 小學校本科正教員ノ試験科目及其ノ程度ハ男子ニ在リテハ師範學校男生徒、女子ニ在リテハ師範學校女生徒ニ課スル學科程度ニ準ス但シ手工、農業、商業、英語ノ一科目若ハ數科目ハ之ヲ闕クコトヲ得

本條ニ本科正教員トアルハ尋常小學校及ビ高等小學校ニ於テ本科正教員タルコトヲ得ヘキモノヲ謂フ

第百九條 小學校准教員ノ試験科目及ヒ其ノ程度ハ左ノ如シ但シ女子ニアリテハ体操ハ女子ノ小學校本科正教員ニ準シ其ノ程度ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨

教育 教授法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、歩合算、比例、求積

歴史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

圖書 自在書及簡易ナル幾何書

音樂 唱歌、樂器使用法

体操 体操及教練

裁縫 通常ノ衣服ノ裁チ方、繕ヒ方

手工 手工ノ大要

商業 商業ノ大要

農業 農業ノ大要

前項ノ科目中農業及商業ハ男子ニ限リ裁縫ハ女子ニ限ル

圖書音樂、手工、農業、商業ノ一科目又ハ數科目ハ之ヲ關クコトヲ得

本條ニ小學校准教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ准教員タルコトヲ得ヘキ者ヲ謂フ

第一百十條

小學校專科正教員ノ試驗科目ハ圖書、音樂、体操、裁縫、手工、農業、商業ノ一科目若ハ數科目トス但シ商業ハ之ヲ商業、英語ニ分ツコトヲ得

前項試驗科目ノ程度ハ師範學校生徒ニ課スル各科目ノ程度ニ準ス

第一項ニ規定シタル科目ノ試驗ハ教育ノ大要及受験科目ノ教授法ヲ附帶シテ之ヲ行フ

小學校專科正教員ノ試驗ハ小學教員檢定委員會ニ於テ修身、國語、算術ニ關シ普通ノ學力ヲ有スルモノト認メタル者ニアラサレハ之ヲ行ハス

本條ニ小學校專科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ專科正教員タルコトヲ得ヘキモノヲ謂フ

第百十一條 尋常小學校本科正教員ノ試験科目及其程度ハ左ノ如シ

但シ女子ニアリテハ体操ハ女子ノ小學校本科正教員ニ準シ其ノ

程度ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨

教育 教育、教授法及學校管理法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例、求積

歴史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

圖書 自在書

音樂 唱歌、樂器使用法

体操 体操及教練

裁縫 通常衣類ノ裁チ方、縫ヒ方繕ヒ方

前項ノ科目中裁縫ハ女子ニ限ル

音樂ハ之ヲ缺クコトヲ得

第百十二條 尋常小學校准教員ノ試験科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但

シ女子ニ在リテハ体操ハ第百十一條第一項但書ニ準シ其ノ程度

ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨

教育 教授法ノ大要

國語 小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例

歴史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理、外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ初步

圖書 簡易ナル自在書

唱歌 單音唱歌

体操 体操及教練

圖書及唱歌ノ一科目若ハ二科目ハ之ヲ闕クコトヲ得

第百十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付キ試験檢定ヲ行フト

キハ小學校教員檢定委員會ニ於テ第百八條乃至第百十二條ノ規定

ニ對照シテ某科目ニ關シ同等以上ノ學力アリト認メタルモノニ

對シテハ其ノ科目ノ試験ヲ闕クコトヲ得

一 師範學校、中學校、高等女學校免許狀ヲ有スル者

二 小學校教員免許狀ヲ有スル者

三 文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シタル者

四 小學校教員免許狀又ハ小學校師範學科卒業證書ヲ有シ其ノ有効期間滿チタル者

五 小學校教員講習科ヲ終リタル者

六 中學校又ハ明治三十二年文部省令第三十四號ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル學校ヲ卒業シタル者

七 高等女學校ヲ卒業シタル者

第百十四條 試験檢定ヲ受ケタルモノニシテ其ノ試験ニ合格セタル

モ某科目ニ關シ成績佳良ナル時ニハ府縣知事ハ其ノ科目ノ成績

ニ關シ證明書ヲ授與スルコトヲ得

前項ノ證明書ヲ受ケタルモノニシテ更ニ試験檢定ヲ出願スルト

キハ其ノ證明書ニ記載シタル科目ノ試験ヲ闕ク

第百十五條 府縣知事ハ檢定手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第二節 教員ノ免許狀

第百十六條 削除

第百十七條 師範學校長ハ師範學校ヲ卒業シタルモノニ對シ小學校

教員免許狀ノ授與ヲ府縣知事ニ申請スヘシ

第百十八條 府縣知事ニ於テ第百七條第六號ニ該當スル者ニ小學校

正教員免許狀ヲ授與セントスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘ

シ

第百十九條 府縣知事ハ小學校教員免許狀登録簿ヲ作り免許狀ヲ授

與シタル者ノ氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記入スヘシ

第百二十條 免許狀ヲ有スル者其ノ氏名ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損

亡失シタル時ハ其ノ書換又ハ再渡ヲ府縣知事ニ出願スルコトヲ

得

前項ニ依リ免許狀ノ書換又ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料トシテ

府縣知事ノ定メタル金額ヲ納ムヘシ

第二百一十一條 免許狀ヲ受ケタル者ノ氏名及免許狀ノ種類ハ府縣知事之ヲ公告ス

○小學校令及小學校令施行規則

實施ニ關スル規程(明治四十五年
東京府令第壹號)

第七章 教員檢定及免許狀

第五十四條 無試驗檢定ハ隨時之ヲ施行シ試驗檢定ハ毎年五月之ヲ施行ス但必要ニヨリ臨時ニ試驗檢定ヲ行フコトアルヘシ
身体檢査ハ學力及性行ニツキ合格ト認ムヘキモノニ限り施行ス其ノ期日ハ豫メ告示ス

第五十五條 毎年五月ニ施行スル試驗檢定ノ出願期間ハ二月一日ヨ

リ全月末日マテトス

島廳郡役所又ハ島役所(利島ハ役場)ハ前項ノ檢定願書ヲ三月三十一日迄ニ當廳ニ到着スヘキ日取リヲ以テ進達スヘシ

第五十六條 試驗檢定ハ豫メ試驗期日試驗時間割及場所ヲ定メ之ヲ告示ス

第五十七條 一人ニシテ同時ニ二種以上ノ本科教員ノ試驗ヲ出願スルコトヲ得ス

第五十八條 小學校教員檢定試驗科目中小學校本科正教員ニ在リテハ手工、農業、商業、英語、小學校准教員ニ在リテハ音樂、手工、農業、商業、尋常小學校本科正教員ニ在リテハ音樂、尋常小學校准

教員ニ在リテハ唱歌ハ當分之ヲ闕ク

第五十九條 無試験檢定ヲ出願シタル者ニシテ教員檢定委員會ニ於テ試験ヲ必要ト認メタル時ハ本人ノ志望ニヨリ更ニ出願ヲ要セ
ス試験檢定ヲ受クルコトヲ得

第六十條 檢定ヲ受ケントスル者ハ別記書式第四號第五號ノ書面、
戸籍抄本ニ左記事項ニ關スル書類ヲ添へ現住地ノ島廳郡役所又
ハ島役所(利島ハ役場)ニ差出スヘシ

一 小學校令施行規則第四條第一號乃至第三號ニ該當セサル者出
願當日ニ於ケル本籍市(東京市大阪市京都市ハ區)町村長ノ證
明書

二 専科正教員ノ試験檢定ヲ受ケントスル者ニシテ尋常小學校及

高等小學校ヲ通シテ修業年限八ケ年ノ課程ヲ終リタル者ニア
リテハ前項書類ノ外尙右ニ關スル當該小學校長ノ證明書

第六十一條 本府師範學校ノ小學校教員講習科ヲ卒リタル者ノ檢定
ハ學校長ノ申請ニヨリ之ヲ行フ

第六十二條 檢定ヲ出願スル者ハ手数料トシテ正教員ハ金壹圓五十
錢准教員ハ金壹圓ヲ收ムベシ

但シ第六十一條ニヨル檢定ニ關シテハ手数料ヲ徵收セス
免許狀ノ晝換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料トシテ金五十錢ヲ
納ムヘシ手数料ハ過納誤納ノ外之ヲ還付セス

第六十三條 前條手数料ハ願書經由ノ際收入命令ノ委任ヲ受ケタル

島司郡長又ハ市ノ區長ニ於テ府ノ財務ニ關スル規定ニヨリ納額告知書ヲ發シ島司地役人(利島ハ名主)ニ於テハ其ノ廳又ハ役所慣行ノ方法ニヨリ之ヲ徵收スヘシ

前項ニヨリ手數料ヲ徵收シタル時ハ檢定願書ニ手數料徵收濟ノ旨證明スヘシ

第六十四條 前條ノ手數料ヲ徵收シタルトキハ府財務ニ關スル規程ニヨリ整理スヘシ但島司地役人(利島ハ名主)ニ於テハ適宜ノ帳簿ニヨリ整理シ各人別仕譯書ヲ添へ臨時當廳へ送付スヘシ

第六十五條 檢定合格者ニ授與スヘキ免狀ノ書式ハ別記第七號第八號ニ本府師範學校卒業生ニ授與スヘキ免許狀ノ書式ハ別記第九

號ニ依ル

第六十六條 試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試驗ニ合格セザルモ某科目ノ成績佳良ナルトキハ其ノ科目ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與ス

第六十七條 不正ノ方法ニヨリ檢定ヲ受ケントシタル者及檢定ニ關スル規程ニ違背シタル者ハ其ノ檢定ヲ受クルコトヲ得ス
檢定ニ合格シタル後前項ノ事實發覺シタルトキハ其合格ヲ無効トス

書式第四號

小學校教員(無)試驗檢定願

住所、族籍

(尋常)小學校本(專)科正(准)教員

氏 名

但シ(專科志願者ハ受クヘキ
學科目ヲ記入スヘシ)

年 月 日 生

右頭書ノ教員志願ニ付(無)試験檢定相受度別紙履歷書戶籍抄本並
證明書相添此段相願候也

年 月 日

右

氏 名 印

知 事 宛

書式第五號

履 歷 書

本籍地 族稱(誰子弟等)

住 所 (假名ヲ附スヘシ)

氏 名

年 月 日 生

學 業

一年月日 何學校ニ入學何年月日何科卒業(卒業證書寫別紙ノ通)

一年月日 何年月日ニ何處ニ於テ何科講習其ノ證明狀ヲ受ク(證

明狀寫別紙ノ通)

一年月日 何々科試験檢定ヲ受ケ何々科合格(證明書寫別紙ノ通)

一年月日 (無)試験檢定ニヨリ何免許狀ヲ受ク(免許狀寫別紙ノ通)

業 務

一年月日 何府縣何郡市町村何々小學校准教員(代用教員)ヲ拜命

ス 何級何俸(何圓)給與何々勤務

一年月日 任何府縣何郡市町村何々小學校訓導何級何俸(何圓給

與何々勤務

一年月日 休職ヲ命ス(休職ノ事由、期間俸給ノ給否ヲ記載スヘシ)

一年月日 依願退職ヲ命ス願出ノ事由ヲ記スヘシ

賞罰

一年月日 何處ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ク又ハ何罰ヲ受ク
身上異動

一年月日 復籍(等)ノタメ何府縣平民ヨリ何府縣士族トナル何年
月ハ氏名何々何々ニ變更

右ノ通相違無之候也

年月日

右

氏名

大正四年四月四日印刷
大正四年四月七日發行

小學教員受験案内奥付

(定價金貳拾五錢)

編輯兼 東京下谷區谷中清水町二十一番地
發行者 長尾八十吉

印刷者 東京下谷區車坂町百六番地
金子兩藏

印刷所 東京本郷區湯島切通坂町三十番地
合社

發行所 東京下谷區谷中清水町二十一番地
東文社

振替東京二七一五八番

不許複製

新刊

中等教員受験案内

菊半截美製本
定價金參拾五錢
郵稅 金貳錢

全國を通じて中等教員不足の數は實に三萬に及ぶ學生諸君が目標は中等教員たるにあらずや本書は中學校師範學校高等女學校教員檢定試験の手續場所時日受験料及び是が關係法規を詳細説明したる者中等教員志望は必ず一讀せざるべからず

印刷中

英語獨習書

四六版美裝
定價二十五錢
郵稅 金貳錢

英語獨習書は世間に大分ある然し此くの如く丁寧に此の如く明瞭に説明したる本は斷じてない本書の著者は全く獨學で英語を修めた人であるから如何なる點が獨學に困難であるか亦せうすれば容易に獨習が出来るかよく知つて居る一字も英語を知らぬ人でも本書を讀めば必ず英語に通じ其の趣味を解するに至るだらう

編輯中

漢文獨習書

四六版美裝
定價貳拾五錢
郵稅金貳錢

漢文獨習書は世に一つもない其れは説明が一寸困難であるからです本書は其の困難を犯して初めて理想的獨習書を完成したのである懇切の説明平易の解釋如何なる初學者と雖も了解することが出來よう敢て漢文獨習者及び中學生諸氏に一讀を乞ふ

終

東文社